

2019年度 学校経営の概要

秋田市立御所野小学校
校長 高野 誠一郎

《基本理念》

生きる力（自立と共生）の基礎を培う御所野教育
～品性・主体性・協働性を豊かに育む学校～

少子高齢化やグローバル化・高度情報化の進行、ライフスタイルの変化など、子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化を続けている。10～20年後、国内601種類の職業のうち、日本の労働人口の約49%が人工知能やロボットなどで代替される可能性があるとの推計結果が発表された。《平成27年12月・野村総合研究所（NRI）》子どもたちが大人になり世の中を生き抜いていくためには、人工知能などでの代替が難しい能力（既存の知識や技術から新たなものを生み出す能力やコミュニケーション能力など）が必要となること具体的な数値で示されたことになる。また、少子高齢化と人口減少が著しい秋田県は、社会の活力維持が重要な課題となるなど、子どもたちが担っていくこれからの社会は厳しい状況にある。

こうした社会を生き抜いていく子どもたちには、持ち味を生かして自ら未来を切り開いていく「**自立**」の力と、様々な人々とのかかわりを通して、人と人とのふれあいや温もりを実感しながら、相手を思いやり、互いに認め合い協力し合う「**共生**」の心を学校教育で育んでいくことが大切である。

また、子どもは家庭で愛され、学校で学び、地域で育つと言われるように、学校と家庭、地域がそれぞれの役割を果たしつつ、互いに連携しながら子どもたちの豊かな人間性を育むことが強く求められている。

私たちが目指す学校は、一人一人の子どもが「やればできる」という成就感や達成感を感じながら、自らの可能性を最大限に伸ばすことができる場であり、自分も他者も等しくかけがえのない存在であることを理解し、だれもがいのちを輝かせながら成長できる場であると考える。

次代を担う子ども一人一人に「自立と共生」の基礎を培うために、子ども同士、子どもと教師の人間性豊かなかかわり合いを全教育活動の基盤に据え、家庭や地域と手を携え、人と人との絆づくりを重視しながら「確かな学力」と「豊かな心」の育成を目指し、全教職員（チーム御所野）で情熱と創意をもって、教育活動に取り組みたい。

《合言葉》

ともに語ろう ともに歩こう 3rdシーズン
「品性・主体性・協働性をともに高めていく子どもと教師」

《基本方針》

- ・ 全教育活動を通じた品性の涵養
- ・ 主体的・協働的に学ぶ力の向上
- ・ 居場所づくりと絆づくりの推進
- ・ 地域総ぐるみでの子育ての推進
- ・ 学校安全と環境整備の推進

《「本年度の重点」を進めていくにあたって、常に意識すること》

学年のチームワークを核として

- ①「小さなことを大切にすること。厳しさとは徹底すること」
- ②「前の自分よりは成長したことを実感させること」
- ③「3つのワークを大切にすること。チームワーク・フットワーク・ネットワーク」

※お願い 2020年11月8日（日） 30回目の開校記念日
2019年度は、30周年記念事業の準備に取り組みます。

秋田市立御所野小学校 教育目標

心豊かでたくましく、進んで学ぶ子どもの育成

目指す学校の姿

- ・明るい声がかどまし、笑顔あふれる学校
- ・互いに認め合い、学び合う学校
- ・家庭・地域と連携し、開かれた学校

目指す子どもの姿

- ・思いやりの心をもち、協力し合う子ども
- ・めあてをもって進んで学び、考えぬく子ども
- ・健康で明るく、がんばりのきく子ども

目指す教師の姿

- ・子どもとのふれあいを大切にする教師
- ・研修に励み、創意工夫し実践する教師
- ・健康で明るく協力し合う教師

《本年度の重点》

豊かな心とたくましさを育む教育活動の充実

(1) 豊かな人間性を育む道徳教育の推進

- ① 道徳教育推進教師を核とした推進体制の機能促進
- ② 共感的人間関係を基盤とした思いやりの心を育てる道徳教育の充実 **「重点項目」**
- ③ **多様な人々とふれあい**、体験的に学ぶ活動の充実
- ④ 家庭や地域と連携した道徳教育の推進

(2) 夢や志を育むキャリア教育の推進

- ① 考え方や生き方を学び、自分の在り方や将来の夢へとつなぐ学習の充実
- ② 発達の段階を踏まえ、社会性、自主性、意欲を育む体験的な活動の充実 **「日常的な取組」**
- ③ キャリア教育の視点による各教科等の指導の充実

(3) 健やかな心と体の育成

- ① 自他の生命を尊重し、よりよく生きようとする心身の育成
- ② 日常的な体力向上に向けた取組の充実
- ③ 家庭地域と連携を図った食育の推進

学力向上に向けた指導の充実

(1) 確かで豊かな学びを育む学習指導の充実

- ① 「分かる・できる・楽しい授業」の構築
- ② 問題解決型の学習（**自分ごととして問いをもち、かわり合いを通して考えを広げる、深める学習**）の充実
- ③ 基本的な学習ルールの徹底 **「御所野スタイルの学び」**
- ④ 全ての学習の基礎・基本となる音読や漢字の読み書き、四則計算等の指導の充実
- ⑤ 家庭学習など、子どもの自主的な学習への支援の充実
- ⑥ 諸調査を活用し、P D C A サイクルを機能させた指導方法の工夫・改善

(2) 読書活動の充実

- ① 本を身近に感じる環境づくり
- ② 発達の段階に応じた読書活動の推進
- ③ 学校司書、ボランティア等と連携した読み聞かせや読書指導の充実
- ④ 家庭と連携した読書活動の促進 **「マイブック」**

互いに心が通い合う学級づくり・集団づくりの推進

(1) 子ども一人一人が自己存在感、自己有用感をもてる学級・学年経営、特別活動

- ① 一人一人のよさや個性を生かし、互いに励まし合い高め合う学級づくり **「自分・友達のことが好き」**
- ② 目標を設定し、集団の一員としての達成感や成就感を味わうことができる学級・学年経営
- ③ 子ども同士、子どもと教師の温かい人間関係の構築 **「ふれあいグループ活動、ふれあいパートナー-学年交流、ふれあいパートナー活動」**

(2) 信頼関係を築き、子どもの心に寄り添う生徒指導の充実

- ① ふれあいを通じた子どもの共感的理解と指導による信頼関係の構築 **「子どもをまるごと好きになる」**
- ② 日常生活における指導をとおした規範意識の醸成
- ③ いじめの正確な認知と組織対応の徹底
- ④ いじめの未然防止に向けた子ども主体の活動の展開
- ⑤ **家庭との連絡を密にしたサポートや教育相談**の充実
- ⑥ 関係諸機関と連携を図った教育相談の推進

(3) 学校全体で取り組む特別支援教育の推進

- ① 一人一人の子どもに応じた特別支援教育の推進
- ② 校内支援体制の確立と相談活動の充実（関係機関との連携）
- ③ **学級間、学校間における交流**及び共同学習の推進
- ④ ユニバーサル・デザインによる授業の推進

開かれた学校運営の充実

(1) 家庭や地域社会との連携を重視した教育活動の展開

- ① 地域をフィールドとした学習、**地域の人材を活用した学習**の推進
(生活科、社会科、総合的な学習の時間等)
- ② 家庭との教育相談の充実 **「日常的な連携」**
- ③ 家庭・地域・学校が連携した行事の充実
(御所野地区大運動会、御所野夏祭り、敬老祝賀会、P T A 親子活動等) **「30周年記念事業の準備」**
- ④ 地域諸行事への子ども参加の推進
- ⑤ 学校経営方針等の周知と学校評価の公開
- ⑥ 学校の教育活動に関する情報提供
(学校自由参観日、PTA授業参観・懇談会、校報、**学年通信**、ホームページ、メール配信等)
- ⑦ 中学進学に関する保護者への情報提供
- ⑧ 幼・保・小・中の連携推進 **「幼保小連携推進会議」**
(幼稚園・保育園・中学校との連絡・交流の活性化)

(2) 家庭・地域と連携した安全・安心、防災に関する指導の充実

- ① 防災教育の基礎となる基本的な知識に関する指導の充実
- ② 家庭・地域と連携した防災訓練等の実施
- ③ 子ども見守り隊や関係機関等との連携による**安全・安心**の推進